



患者さんとの会話で、時々こんな話をきくことがあります。

「今まで遠くの病院までリハビリを受けに行っていたけど、こんな近くの病院で同じようにリハビリを受けられるところがあったんですね。」

そうなんです。知らない方もおられるかもしれませんが、当院でも入院リハビリ、外来リハビリ、訪問リハビリの対応をすることで、適切なリハビリを受けていただくことができます。

入院リハビリや外来リハビリは、治療目的や在宅復帰を目的とするものなどがあります。訪問リハビリは、通院が困難な方のご自宅を訪問し、機能維持・

回復のための運動や動き方の指導や環境調整などのアドバイスを行うものです。

どなたでも受けられるという訳ではありませんが、ご希望の方は当院の医師やリハビリスタッフ、地域連携室へお気軽にご相談ください。

国保京丹波町病院 Tel86-0220



自分の骨密度をご存知ですか？



国保京丹波町病院

小西 賢治 診療放射線技師

明けましておめでとうございます。寒い日が続きますね。皆さんはご自身の骨密度を調べたことはございますか。骨は硬いイメージがありますが、実は中はスポンジのような構造をしています。そこがスカスカになってもろくなってしまった状態を骨粗しょう症といいます。骨粗しょう症になると転倒したりつまずいたりしたときに骨折するリスクが高まります。冬場は厚着になり動きにくくなったり、悪天候により足元がすべりやすくなったりして転倒するリスクも高まります。自分の骨密度を知り治療することで骨折を未然に防ぐことに繋がります。骨密度は簡単な検査で調べることができますので気になる方はご相談ください。

～^{けん}健^{こう}幸～生き活きウェルネス

コーナー

京丹波町にお住いの皆さんが健やかに幸せに「健幸」で暮らせるように・・・。

国保京丹波町病院では、病気になる前の「予防医療」を大切に

病気を患ってからもその人なりに幸せに暮らせるよう「地域包括ケアシステム」を充実し町民一人ひとりの健幸Wellness—ウェルネス—を目指しています。



かき た ひで はる
垣田 秀治院長



令和5年となりました。

穏やかな新春をお迎えでしょうか。

コロナは相変わらず収束しそうにありませんが、行動制限のない年末年始だったこともあり、久しぶりに懐かしい方と会われた方もおられたことでしょう。

いつの間にか、私たちもコロナに対する対応が自然に身についてきたようにも思います。

マスクをつけることが当たり前となったり、スーパーなどの入口では手指消毒をすることが当たり

前となったり、今まではしていなかったことを、意識せずに私たちはするようになってきました。

新型コロナウイルス感染症の第二類相当の見直しも本格的に議論されるようなことも報道されていますが、新型コロナウイルスは、インフルエンザと比較しても、はるかに感染力が強いことには変わりはありません。

せっかく自然に身についた感染対策。仮に第二類相当から変わることがあっても、今後も継続していくのが、コロナの流行を予防する第一歩ですね。